

---

# H18年度 韓国・ソウル海外視察報告書

H18 연도 한국·서울 해외 시찰 보고서

---



2007年 2月

社団法人中小企業診断協会岡山県支部

海外ビジネス研究会





景福宮

경복궁

ソウルの鍾路区(チョンノグ)世宗路(セジョンノ)にある李氏朝鮮時代の正宮、「景福宮(キョンボックン)」は、ソウル市内にある「大正宮」の中でも12万6337坪(416,990㎡)と最も規模が大きく、また建築美に優れた宮殿と評価されるこの景福宮は、1395年(太祖4年)に創建され、現在は国の史跡第117号に指定されている古宮。また景福宮内には勤政殿(クンジョンジョン・国宝第223号)、慶会楼(キョンフェル・国宝第224号)、慈慶殿(チャギョンジョン・宝物第809号)、慈慶殿十長生煙突(シッチャンセンクルットツ・宝物第810号)、交泰殿峨嵋山煙突(キョテジョン・アミサンクルットツ・宝物第811号)、勤政門(クンジョンムン)と行閣(ヘンガッ・宝物第812号)、風旗台(ブンギデ・宝物第847号)、敬天寺跡十重石塔(キョンチョンサジ・シッチュンソッタツ・国宝第86号)、法泉寺智光国師の玄妙塔(ポンチョンサ・ジグアングッサ・ヒョンモタツ・国宝第101号)など数多くの文化財(国宝7点、宝物-国宝と重要文化財の間11点)があります。また敷地内には国立古宮博物館と国立民俗博物館もあり、ソウルに来たら必ず行っておきたい場所ナンバーワン! (記事:ソウルナビより)



## 韓国視察を終えて

第11回目を迎えた海外経済視察は、通貨危機から立ち直り、経済発展が著しい韓国を訪問しました。中小企業診断協会のメンバーが9名、企業人1名の10名が、JETROコリア、CJホームショッピング、商業施設などを視察しました。

韓国は1997年に起きた東アジア通貨危機を、金大中による開放政策にて外資からの投資による輸出型経済により脱出しました。現在では、現代自動車、サムソン、LG電子など自動車産業や電子産業にて競争力の高い企業が存在しています。

また、造船では世界一となっています。韓国企業の特徴は大資本による集中投資、意思決定の速さがあげられます。

今回の視察はこのような経済発展を遂げている隣国を、中小企業の市場として捉えることができないかとの視点を持ち行いました。岡山から空路1.5時間でソウルに行くことができ、そこには約1000万の人口、周辺人口で2300万人にものぼり、韓国の人口の約半分を占めている大市場が存在しています。これは、東京の人口が約1200万人、東京圏人口3800万人と比較しても遜色ない市場です。日本の中小企業は、近隣に魅力的な市場があることを認識することが必要です。

今回も、視察団各員の方々にご執筆を頂き、ここに小冊子を編纂できる運びと成りました。診断協会の方々にもご一読戴ければ幸いです。

最後に、お世話になりました関係者の皆さまに熱くお礼を申し上げるとともに、団員の方々のますますのご健勝をお祈りいたします。

2007年2月



## ＜参加者リスト＞

氏 名	所 属	氏 名	所 属
入矢和政	入矢コンサルタント事務所	平井克江	(有) アドデザイン
児玉健治	(有)オフィス・マッケンジー	藤井愛也	藤井診断士事務所
佐藤康之	監査法人トーマツ	増本好孝	瀬戸内市役所
谷 行 治	(株) アルマ経営研究所	松田眞司	岡山県中小企業支援センター
中原富二雄	(株) アルマ経営研究所	山本督憲	(株) 中国銀行

## ＜日 程 表＞

	2006年	都市名	時刻	行動予定
1	11月23日(木)	岡 山 岡 山 ソウル	07:45 09:45 11:45 午後	[集合] [出発] 着後、市内へ JETROコリア訪問 夕食 (ソウル泊)
2	11月24日(金)	ソウル	午前 午後	CJ社視察訪問 昼食 市内観光(景福宮、ロッテ百貨店、商業地) 夕食懇談会 (ソウル泊)
3	11月25日(土)	ソウル 岡 山	午前 午後 18:00 19:25	集合時間までフリー ホテルから空港へ

## ＜目 次＞

☆「いっしょに歩いていく国、韓国」	入矢コンサルタント事務所	入 矢 和 政 …… 1
☆「今年も行ってきました海外視察・マーケットとしての韓国ソウル」	(有)オフィス・マッケンジー	児 玉 健 治 …… 4
☆「CJHSとの打合せを通じて垣間見た韓国マーケット」	監査法人トーマツ	佐 藤 康 之 …… 7
☆「韓国経済事情調査団」	(株)アルマ経営研究所	谷 行 治 …… 10
☆「ソウルは日本といっしょの様な気がする。文字以外は。」	(株)アルマ経営研究所	中 原 富 二 雄 …… 13
☆「韓国研修旅行のまとめ」	(有)アドデザイン	平 井 克 江 …… 15
☆「ソウル 体感・雑感」	藤井診断士事務所	藤 井 愛 也 …… 23
☆「韓国視察レポート」	瀬戸内市役所	増 本 好 孝 …… 26
☆「韓国視察報告」	岡山県中小企業支援センター	松 田 眞 司 …… 28
☆「ソウルの静かな朝」	(株)中国銀行	山 本 督 憲 …… 30

# いっしょに歩んで行く国、韓国

함께 걸어 가는 나라, 한국

入矢 和政

## はじめに

平成18年11月23日から25日までの3日間、中小企業診断協会岡山支部の韓国視察団の一員としてソウルを訪問し、見聞きした最近の韓国状況について報告します。

訪問視察の主な目的は、韓国の社会、経済、文化の理解を深めることにより診断士の活動に役に立てること。そして、韓国は昨年訪問したベトナムとは違い岡山の中小企業の販売先として有望であるのかを調査するというのも目的の一つでした。

韓国といえばまずは、「キムチ」、「焼肉」、「北朝鮮問題」、「韓国スター」、「韓流」、「エステ」、「プチ整形」、「竹島問題」、「歴史教科書問題」、「靖国問題」、「反日」などなどいろいろなキーワードが出てきます。とても近い国ですが国同士では揉めたりして少し気が抜けない国であるように感じていました。サッカーなどのスポーツで日本と対戦するときは、韓国の国民はかなり熱くなるようです。

## こんなところにも

まず、KOREAN航空の中で座席にある読み物でKOREAN航空の航路が書いている世界地図が載っていました。その地図では、「日本海」という海は無く「EAST SEA」と書かれていました。日本語読みで「東海」と呼ぶのでしょうか。ここにも日韓の問題があるのかと驚かされました。また韓国の地で日本から攻めてきた豊臣秀吉の名を聞いたときには、びっくりしました。

仁川空港に到着して円をウォンに交換しました。少し前なら1万円で10万ウォンだったのが73,000ウォンにしかありませんでした。約10倍のイメージが8倍くらいになって、円の弱さを感じました。韓国の通貨(ウォン)が高いので、物価が高く感じられました。

## 自動車の国

仁川空港からソウル市内までバスで移動しました。日本と違い道路の車線が多く4車線ありました。ソウル市内でも4～5車線の道路があります。ハンドルは、

左ハンドルで、右側通行です。右折をするときは、信号が赤になっていても行くことができるようです。

タクシーにも乗りました。タクシーの料金は相乗りもOKらしく距離を走っても料金的には安く、初乗り1,900ウォンなので120円くらいでしょうか。但し、運転が荒く車間距離も短く、スピードも出し、ひやひやしました。自分がレンタカーで運転をしようとは思いませんでした。車は、現代自動車、K A I の車ばかりで日本車やその他の国の車はほとんど見られませんでした。現地の人に聞くと、外車は高価なのでほとんど韓国車を購入するとのことでした。



### 失業率は低い

1日目にJETOROに訪問をして韓国の状況を聞きました。

ソウルの人口は1千万、周辺地域もあわせると2千万の人口が集中しているということでした。

所得水準ですが大学卒の初任給は日本と同様か少し高いくらいという話でした。調べてみると中小企業と呼ばれる会社は初任給で年収約1,500万ウォン～1,800万ウォン（日本円で170万～210万円ほど）、



大企業は年収約2,500万ウォン～3,000万ウォン（280万～340万円ほど）となっているようです。また大企業は、業績に応じたインセンティブとして特別賞与が当たりするそうです。中小企業と大企業で給与も差があるので学歴社会となっているようです。

失業率が3.3%と日本より低い。韓国政府の公共投資で雇用創出に取り組んでいることなどで就業者数が増えているようです。但し、若年層の失業率が8.0%と高いのが問題のようです。後、日本より少子化となっているのには、驚きました。

知り合いの韓国の人に聞くと共働きが普通であるようです。そうしないと生活ができないし、英語の塾代などの習い事を含めた子供の教育資金が結構かかるようです。

## ITの国

日本の漫画カフェの前身となるPCカフェが数多くありました。そこでは、若者が集まってネットゲームをするということです。日本にあるインターネットカフェの先駆けみたいなものです。韓国らしいというかプログラマーという職業もあるようです。年俸は最高で2億ウォン（約2300万円）。大



好きなゲームでお金が稼げてしまうこの職業を羨む韓国の若者が多いとも言われています。そのうち日本でもプログラマーが登場するかもしれません。

電車に乗ると携帯電話でメールを打つ姿は日本と同様によく見かけました。韓国では、デジタル放送を使ってTVドラマの予告を流しているようです。

2日目には、通信販売のCJ Home Shoppingに視察及び見学に行きました。その会社は、TVショッピングをメインで売上を上げている会社です。ケーブルTVのチャンネルを持っていて1日中TVショッピングを流しているとのことでした。見学した建物はスタジオが数セットあり、まさにTV局そのものでした。まだインターネット販売での売上高は少ないようでした。しかし、今後の少子化、高齢化また夫婦共働きが増えている中でしかも人口が減少することを考えるとTVショッピングだけではなく、インターネットに力をいれていくようでした。実際TVショッピングで放送しているものがそのまま、インターネットで放送している同じものがパソコンで見ることが出来ます。これもIT技術の進歩です。

インターネットでTVと同じようなマス情報を放送していますが、日本では、最近ではブログの個人日記による口コミから商品を買ったり、アマゾンみたいに個人の使用感、お買い得感をコメントでつけて販促したりといった個人からの発信をどのように活用するかということが考えられています。その辺りが韓国と日本のそもそもの違いなのかと考えてしまいます。

## さいごに

韓国国民の給与水準といい、物価といい韓国は十分にマーケットになると確信をしました。ソウル市内の人口といい集約されたマーケットであるかと感じました。韓国の方からは、日本製品は高級でものが高品質であるという印象をもたれているようでした。CJ Home Shopping側の方々も岡山の中小企業の製品に非常に興味をもたれたようです。今後のビジネスに発展をしていきそうでした。最後に岡山県支部海外視察委員の皆様と藤井団長には心から御礼を申し上げます。



# 『今年も行ってきました海外視察 ・ ・ マーケットとしての韓国ソウル』

마켓으로서의 한국 서울

児玉 健治

海外ビジネス研究会は、「岡山県の中小企業が海外進出をキーに成長回路を構築するための具体的な支援のカタチ」を追及してきました。そして、その一つの仮説として出した「岡山県の中小企業の優れた製品を韓国で売る」を検証するために、11月23日から25日の3日間、韓国ソウルへ視察に行ってきました。診断協会岡山県支部の恒例行事である海外視察をこれにあてたのです。



韓国はサラリーマン時代にも仕事でよく行ってたので事情もよくわかっているつもりでしたが、今回の視察で大きく様変わりしている韓国を目の当たりにすることとなりました。

変化の一番の要因は日本円に対する韓国の通貨「ウォン」高です。2年くらい前に韓国に行った頃は、1万円が韓国ではおよそ10万ウォン。ほぼ10倍すればよかったです。今回はウォンの為替レートが3割近く上がってしまい、1万円が7万3千ウォンにしかならないのです。なので、以前は3,000ウォンのコーヒーが300円だったのに今回は400円弱。1人前30,000ウォン的高级カルビが4,000円弱。で、さらに為替の影響だけでなく、物価も上がっているような気がしました。特に漢江（ハンガン）という川の南側の江南（カンナム）という地域は街並みも人の姿も行動も日本の東京とさほど変わらず、ものすごく洗練されていました。物価も日本とほぼ同じという感じです。これはけっこうつらいです。今回は食事をして買い物しても最後まで割安感を一度も感じることはありませんでした。

しか～し！我々は何もメシ食って買い物するために韓国に行ったのではありません。岡山県の中小企業の優れた特長ある製品の新たな販売先、マーケットとしての韓国の可能性を探りに行ったのです。それはすぐに答えが出ました。「十分

可能性あり」です。

韓国のビジネスマンにも話を聞くことができ、確信することができました。根強い反日感情はたしかにあるのですが、日本の製品に対する興味も強いものがあるようです。

ソウルの人口は1千万、周辺地域もあわせると2千万の人口がギュッと集積し



ているきわめて効率的なマーケットと言えます。大企業にとっては2千万のマーケットは必ずしも魅力的でないかもしれませんが、中小企業にしてみれば十分なマーケットサイズと言えるでしょう。購買力が上がり、物価もほとんど日本と同じのマーケットです。

岡山空港からソウルへは毎朝直航空便が出ており、東京出張感覚でソウルに行けます。これも大きいのではないのでしょうか。

中小企業としては、まっさらな魅力的なマーケットであり、今までの国内でのマーケットシェアの勢力図を塗り替える、というか新たに描くこともできるのです。モノによってはヨーイドンで今までのシェア勢力図をチャラにしての戦いをすることができます。ブランド力をもってしまえば日本での企業規模は関係ありません。



そう、地元中小企業の経営の支援、儲けるためのお手伝いをする中小企業診断士の出番です！また近々ソウルに行くことになるでしょう。ピピンバ、カルビ、韓定食、豆腐チゲは、全部うまかったし、なかなかいい買い物もできたのですが、メシ食って買い物するのではない、ビジネスのための韓国出張に行く

のです。アジアの国はもはや日本企業の生産・加工拠点だけではありません。マーケットとしてのアジアにもっと注目すべきでしょう。特に東アジアは中小企業にとってすごく魅力的です。